

2025年度 学科別授業科目一覧表 （実務経験表記あり）

課程： 工業専門課程

学科：

情報処理 3 年制

NO.	授業科目	学年	授業時間数	単位	必須・選択	講義・実習	実務経験
29	Java演習Ⅲ	2	60	4	必修	実習	有
30	Java資格対策	2	30	2	必修	講義	有
31	Webプログラミング	2	60	4	必修	実習	有
32	JavaScriptⅡ	2	30	2	必修	実習	有
33	PythonⅠ	2	60	4	必修	実習	有
34	UMLⅠ	2	30	2	必修	講義	有
35	UMLⅡ	2	30	2	必修	講義	有
36	データベース演習（SQL）Ⅱ	2	60	4	必修	実習	有
37	CCNA基礎Ⅰ	2	60	4	必修	実習	無
38	LinuxⅠ	2	60	4	必修	実習	有
39	LinuxⅡ	2	60	4	必修	実習	有
40	LPIC/LinuC対策Ⅰ	2	30	2	必修	講義	有
41	データサイエンス	2	30	2	必修	講義	有
42	進級制作	2	60	4	必修	実習	有
43	セキュリティⅡ	2	30	2	必修	講義	有
44	基本情報科目A対策Ⅱ	2	30	2	必修	講義	有
45	基本情報科目B対策Ⅱ	2	15	1	必修	講義	無
47	基礎英語Ⅰ	2	30	2	必修	講義	有
48	基礎英語Ⅱ	2	30	2	必修	講義	有
49	ビジネス数学	2	30	2	必修	講義	無
50	一般常識Ⅰ	2	30	2	必修	講義	無
51	一般常識Ⅱ	2	30	2	必修	講義	無
52	就職対策Ⅰ	2	30	2	必修	講義	有
53	就職対策Ⅱ	2	30	2	必修	講義	有
54	プレゼンテーション	2	30	2	必修	実習	有
55	ビジネスマナーⅡ	2	30	2	必修	講義	有
56	ビジネス検定対策	2	30	2	必修	講義	有
57	簿記	2	30	2	必修	講義	有
58	体育実習Ⅱ	2	30	2	必修	実習	無
59	課外活動Ⅱ	2	15	1	選択	実習	無
78	一般常識Ⅱ	2	30	2	必修	講義	無

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象														
工業専門課程		情報処理科 3 年制		2025		2 年 前期														
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数														
専門 必修	実習	Java演習Ⅲ		高橋 義博	有	4 単位 60 時間														
【授業の到達目標及びテーマ】																				
1年次に学んだJavaの基礎からステップアップし、Javaを使ったWebシステム開発の基礎を学んでいく。Webアプリケーションを支える技術、静的コンテンツと動的コンテンツなど、幅広く学習していく。																				
【講義概要】																				
Webシステム開発で幅広く利用されている「サーブレット」と「JSP」は、非常に強力な技術である。HTMLやHTTPといった各種仕様、セッションやスコープをとといった概念など、必要な知識は多岐に渡りますが、一歩ずつ着実に習得できるような授業とする。教科書を使用するため、教科書は必携すること。（貸出不可）																				
回	授業計画及び学習の内容																			
1	HTMLとWebページ、Webのしくみ、ツールについて																			
2	サーブレットの基礎																			
3	サーブレットによるリクエストの処理																			
4	いろいろなリクエストパラメータ																			
5	JSPの基本																			
6	JSPによるリクエストの処理とエラーページ																			
7	いろいろな画面遷移																			
8	サーブレットの詳細																			
9	HTTPのリクエストとレスポンス																			
10	Javaとデータベースの連携																			
11	JavaBeansとDAO、EL																			
12	課題：ログインシステム制作																			
13	課題：簡易ショッピングカート制作																			
14	課題レポート																			
15	課題レポート																			
【成績評価方法】																				
<table><tr><td>評価項目</td><td>試験・課題</td><td>小テスト</td><td>レポート</td><td>平常点</td><td>その他（ ）</td><td>合計</td></tr><tr><td>割合</td><td>60%</td><td></td><td>20%</td><td>20%</td><td></td><td>100%</td></tr></table> （補足） ・レポートや自習課題は必ず提出すること ・成績は1 0 0点を最高とし、6 0点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。							評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	60%		20%	20%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計														
割合	60%		20%	20%		100%														
【教員紹介】																				
15年以上、Webデザイナー・Webプログラマとして幅広いWebシステム開発、Webサイト制作に従事。また、複数の専門学校等でWebデザイン講師に従事。																				
【教科書・参考文献】																				
基礎からのサーブレット/JSP 第5版、松浦 健一郎/司ゆき（著）、 SBクリエイティブ																				

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科 3 年制	2025		2 年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
専門 必修	講義	Java資格対策	小泉 真理子	有	2 単位 30 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】						
Oracle社認定のJavaの資格試験であるJava SE Bronze（1Z0-818）への合格を目指す。 開発職を希望する者や、余力のある者はJava Silverの取得も奨励する。						
【講義概要】						
演習問題を実機で動かし学習する。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	教科書の問題演習					
2	教科書の問題演習					
3	教科書の問題演習					
4	教科書の問題演習					
5	教科書の問題演習					
6	教科書の問題演習					
7	中間試験					
8	教科書の問題演習					
9	教科書の問題演習					
10	教科書の問題演習					
11	教科書の問題演習					
12	教科書の問題演習					
13	教科書の問題演習					
14	教科書の問題演習					
15	期末試験					
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	50%		50%			100%
(補足) ・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。						
【教員紹介】						
SIベンダにてソリューション提案・設計に従事。保有資格：ITパスポート試験、基本情報技術者試験、情報セキュリティマネジメント試験、応用情報技術者試験、情報処理安全確保支援士、ネットワークスペシャリスト試験、プロジェクトマネージャ試験など。						
【教科書・参考文献】						
インプレス社 徹底攻略Java SE Bronze問題集 [1Z0-818] 対応						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科 3 年制	2025		2 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
専門 必修	実習	Webプログラミング	清野ひろし	有	4 単位 60 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
phpにより、Webプログラミングの基礎を学習する。							
【講義概要】							
説明と実践（課題作成）を繰返しWebプログラミングで必要な知識と技術を身につける。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	phpのデータ型、出力、変数、includeなど						
2	制御構造 if、while、for						
3	配列処理						
4	連想配列、日付時刻						
5	データベース操作						
6	formタグによるデータの受け渡し						
7	DBの更新						
8	HIDDENによるデータ渡し						
9	BBSのログイン処理						
10	BBSの書込み、返信機能						
11	クッキーによるデータ渡し						
12	買い物カート						
13	セッションによるデータ渡し						
14	買い物履歴など						
15	まとめ						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		90%			10%		100%
(補足)		・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
8年間、SEとして実務経験あり。現在は、言語関係（C、java、C++、C#、php、など）、linux、データベース、システム設計などを担当する。							
【教科書・参考文献】							
特になし。必要な資料は、紙やpdfで用意する。							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科 3 年制		2025		2 年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
専門 必修	実習	JavaScript II		高橋 義博	有	2 単位 30 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
Web APIの取得を学習し、Webアプリの制作方法を理解できるようになる。Video要素などJavaScriptの利用が必須のHTML要素の技術を学習する。これらの技術を使って、Webアプリを作成していく。							
【講義概要】							
本講義ではプログラミング用のエディタの基本的な使い方についても習得する。理解度を図るためのテストも実施する。自主学習も必要不可欠である。教科書を使用するため、教科書は必携すること。(貸出不可)							
回	授業計画及び学習の内容						
1	これまでの総復習						
2	Dateオブジェクトの学習						
3	Dateオブジェクトの学習						
4	小テスト：デジタル時計の作成						
5	簡易郵便番号検索（WebAPIの活用）						
6	簡易郵便番号検索（WebAPIの活用）						
7	天気予報アプリ作成（WebAPIの活用）						
8	天気予報アプリ作成（JSONデータの活用）						
9	天気予報アプリ作成（JSONデータの活用）						
10	天気予報アプリ作成（WebAPIの活用）						
11	天気予報アプリ作成（WebAPIの活用）						
12	課題：オリジナル時計の作成						
13	課題：オリジナル時計の作成						
14	課題レポート						
15	課題レポート						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		60%		20%	20%		100%
(補足)		・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
15年以上、Webデザイナー・Webプログラマとして幅広いWebシステム開発、Webサイト制作に従事。また、複数の専門学校等でWebデザイン講師に従事。							
【教科書・参考文献】							
これからのJavaScriptの教科書、狩野 祐東（著）、 SBクリエイティブ							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象														
工業専門課程		情報処理科 3 年制	2025		2 年 後期														
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数														
専門 必修	実習	Python I	高橋 義博	有	4 単位 60 時間														
【授業の到達目標及びテーマ】																			
Pythonの目的や役割をしっかりと理解したうえで、他のプログラミング言語との違いも含めて、Pythonの基本を学習する。WebAPIの活用やスクリプティングなど幅広くPythonの仕組みを理解する。																			
【講義概要】																			
プログラミング用のエディタの基本的な使い方についても習得する。Pythonの基礎から簡易的なWebシステム開発についても学習する。理解度を図るためのテストを実施する。夏季休暇中に課題レポートをおこなう。毎回、教科書をベースに説明するため教科書は必携すること。（貸出不可）																			
回	授業計画及び学習の内容																		
1	Python基礎：Pythonの開発環境づくり，Pythonシェルを使った簡単な操作																		
2	Python基礎：前回の課題解説，モジュールについて，calender，date，math																		
3	Python基礎：リストについて，タプルについて，条件分岐，三項演算子，論理演算子																		
4	Python基礎：内包表記，if構文を含む内包表記，forの練習問題																		
5	Python基礎：辞書、集合、文字列操作、スライス、関数。復習テスト																		
6	Matplotlibによるグラフ化																		
7	小テスト																		
8	RequestsモジュールによるWebAPI取得																		
9	Webスクレイピングについて。Beautiful SoupでHTMLの解析																		
10	課題：スクレイピングでニュース一覧、英単語一覧の作成																		
11	Seleniumによるブラウザ操作とスクレイピング、Webフレームワークについて																		
12	PythonでじゃんけんWebアプリ制作																		
13	課題：PythonでじゃんけんWebアプリ制作、DBについて																		
14	課題レポート																		
15	課題レポート																		
【成績評価方法】																			
<table><tr><td>評価項目</td><td>試験・課題</td><td>小テスト</td><td>レポート</td><td>平常点</td><td>その他（ ）</td><td>合計</td></tr><tr><td>割合</td><td>60%</td><td></td><td>20%</td><td>20%</td><td></td><td>100%</td></tr></table> （補足） ・レポートや自習課題は必ず提出すること ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。						評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	60%		20%	20%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計													
割合	60%		20%	20%		100%													
【教員紹介】																			
15年以上、Webデザイナー・Webプログラマとして幅広いWebシステム開発、Webサイト制作に従事。また、複数の専門学校等でWebデザイン講師に従事。																			
【教科書・参考文献】																			
Python ゼロからはじめるプログラミング、三谷純（著）、 翔泳社																			

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科 3 年制		2025		2 年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
専門 必修	講義	UML I		潮 達也	有	2 単位 30 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
到達目標はシステム開発の実践の場で要件定義、基本設計、詳細設計、プログラム設計等でUMLでドキュメントを作成出来るようになることで、環境としてはUML統合環境ツールの使用を一人称で活用出来るところを目指します							
【講義概要】							
UML統合環境を使用しそれぞれのダイアグラムを各表記法にてどう描くかを想像できるよう実践的な捉え方を習得する							
回	授業計画及び学習の内容						
1	UMLとは オブジェクト指向 歴史的背景 標準化 Astah professionalツールの使用法とダイアグラムの種類の説明						
2	ユースケース図 特徴(振る舞い図) 表記ルール アクターとユースケース オブジェクト間の関係						
3	ユースケース図 関連 包含 拡張 汎化 演習問題(基本問題 問題の捉え方 掴み方)						
4	ユースケース図 演習問題(応用問題 実践問題 解放の手引き)						
5	オブジェクト図 特徴(構造図) 表記ルール オブジェクトアイコン 属性 関係 インスタンスとクラス						
6	オブジェクト図 演習問題(基本問題 応用問題 解放の手引き)						
7	中間試験						
8	クラス図 特徴 表記ルール 属性 操作 可視性 多重度 ロール クラス間の関係について						
9	クラス図 関係には(関連 限定子 複数関連 集約 依存 汎化)						
10	クラス図 関係には(コンポジション 実現 抽象クラス 関連クラス)						
11	クラス図 演習問題(基本問題からクラスアイコン クラス間の関係の表記 ロールと多重度の表記)						
12	クラス図 演習問題(応用問題 実践問題 UML/L1レベル相当の問題)						
13	シーケンス図 特徴 表記ルール 同期メッセージ 非同期メッセージ リプライメッセージ						
14	シーケンス図 ロストメッセージ ファウンドメッセージ 実行指定						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		75%	10%		15%		100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。					
【教員紹介】							
・ IT企業にて開発プロジェクトに従事 (SE) ・ 富士通のシステムソリューション部門でC言語の講義実習(2回) ・ 富士通ユーザーの情報システム部にてC言語・SQLの講義実習(1週間)							
【教科書・参考文献】							
技術評論社 かんたんUML入門〔改訂2版〕 ナツメ社 はじめて学ぶUML 第2版							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科 3 年制		2025		2 年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
専門 必修	講義	UML II		潮 達也	有	2 単位 30 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
到達目標はシステム開発の実践の場で要件定義、基本設計、詳細設計、プログラム設計等でUMLでドキュメントを作成出来るようになることで、環境としてはUML統合環境ツールの使用を一人称で活用出来るところを目指します							
【講義概要】							
前年2年生後期からの継続実習でUML統合環境を活用したダイアグラム表記が各表記法で描けかつ実践的な表記を習得する							
回	授業計画及び学習の内容						
1	シーケンス図 制御構造化表現の表記法 パラレル クリティカル break ref assert seq ignore strict						
2	シーケンス図 演習問題(基本問題 応用問題 演習の解法・解説) 演習の解法・解説						
3	コミュニケーション図 ライフライン及び基本表記法 メッセージの種類・表記法 オブジェクトの関連						
4	コミュニケーション図 演習問題(基本問題 応用問題 演習の解法・解説)						
5	ステートマシン図 基本的表記法 状態遷移の表記法 状態の階層化 疑似状態 状態再利用 拡張の表記						
6	ステートマシン図 状態遷移とトリガ 状態の階層化 直交状態 各々疑似状態 履歴疑似 選択疑似						
7	中間試験						
8	ステートマシン図 フォークとジョイン疑似 ジャンクション疑似 停止疑似 合成状態						
9	ステートマシン図 演習問題(基本問題 応用問題 演習の解法・解説)						
10	アクティビティ図 基本的表記法 アクションとノード 各々のノード 各々のアクション 表記上の注意点						
11	アクティビティ図 パーティション 呼出し振舞アクション 入出力ピン パラメータアクティビティノード						
12	アクティビティ図 演習問題(基本問題 応用問題 演習の解法・解説)						
13	パッケージ図 基本的表記法 パッケージ図の描き方 階層構造 依存関係 表記上の注意点						
14	パッケージ図 内部要素の切り出し 演習問題(基本問題 応用問題 演習の解法・解説)						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計
割合		75%	10%		15%		100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。					
【教員紹介】							
・IT企業にて開発プロジェクトに従事(SE) ・富士通のシステムソリューション部門でC言語の講義実習(2回) ・富士通ユーザーの情報システム部にてC言語・SQLの講義実習(1週間)							
【教科書・参考文献】							
技術評論社 かんたんUML入門[改訂2版] ナツメ社 はじめて学ぶUML 第2版							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科 3 年制	2025		2 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
専門 必修	実習	データベース演習（SQL）Ⅱ	清野ひろし	有	4 単位 60 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
データベース管理者にとって必要な知識の習得を目標とする。							
【講義概要】							
データベースのデータ型、テーブル管理、各種制約、ビュー、トリガー、ストアドルーチンなどを学習する。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	復習 1 いろいろな定数、likeの正規表現、外部結合						
2	復習 2 グループینگ、サブクエリー						
3	文字コード設定、デフォルト設定、照合順序						
4	データ型の詳細 数値、日付時刻、文字						
5	文字列、ビット、列挙型、集合						
6	テーブル管理 インデックス、複製、検索エンジン						
7	主キー制約、ユニーク制約、外部キー制約						
8	テーブルの構造変更、デフォルトデータ						
9	正規表現、limit						
10	ビュー						
11	トリガー						
12	ストアドルーチンその1 ファンクションとプロシージャの使い方						
13	ストアドルーチンその2 制御構造						
14	実例 座席予約など						
15	まとめ						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		75%		15%	10%		100%
(補足)		・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
8年間、SEとして実務経験あり。現在は、言語関係（C、java、C++、C#、php、など）、linux、データベース、システム設計などを担当する。							
【教科書・参考文献】							
特になし。必要な資料は、紙やpdfで用意する。							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科 3 年制	2025		2 年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
専門 必修	実習	CCNA基礎 I	菊池 靖	無	4 単位 60 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
コンピュータネットワークが繋がる理由、仕組みと基本的なネットワーク機器の設定を習得する。							
【講義概要】							
ネットワークが繋がる仕組みを、OSI参照モデルをベースにして各階層ごとに働くプロトコルとその連携を知り、デバイスの設定に反映できるようにする。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	CCNA試験とは・コンピュータネットワークとは・OSI参照モデル						
2	PacketTracerの使い方・Ciscoデバイスの基本設定						
3	IPアドレス・IPv6・ICMP						
4	ルータとルーティング・ルータIFのアドレス設定・PCのアドレス設定						
5	スタティックルーティング・デフォルトルートの設定						
6	ルーティングプロトコル・ここまでの復習						
7	中間試験						
8	RIPの設定・デフォルトルートの伝播						
9	2進数・サブネットワーク						
10	VLSM・サブネットの設計・RIPv2						
11	IPv6ルーティング						
12	仮想端末接続・Ciscoデバイスのセキュリティー						
13	データリンク層とイーサネット・シリアル回線						
14	ここまでの復習						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		60%			40%		100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。					
【教員紹介】							
大学・専門学校で情報系の授業を30年以上担当。Cisco CCNA インストラクター資格を取得済み。							
【教科書・参考文献】							
-							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科 3 年制	2025		2 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
専門 必修	実習	Linux I	清野ひろし	有	4 単位 60 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
Linux I では、各種の設定や操作に必要なコマンドとスクリプトを学習する。その技術や知識を道具としてサーバー構築を行う。目標は、使用頻度の高いコマンドやスクリプトを使いこなせるようになることである。							
【講義概要】							
基本的なコマンドやスクリプトの学習からはじまる。講義で学んだ知識によって、実際にLinux上でいろいろな操作を行う。実践を通して基本的な操作が身につくようにする。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	基礎 1 OSの基礎知識、LinuxまでのUNIXの歴史、実習の進め方など						
2	基礎 2 ファイル、ディレクトリの操作、リダイレクト、パイプ						
3	基礎 3 viエディタの操作 1						
4	基礎 3 ソート、検索、正規表現の基礎						
5	基礎 4 テキストフィルタ						
6	基礎 5 スクリプト、計算、文字列操作、if						
7	中間試験						
8	基礎 6 制御構造、while、for						
9	基礎 7 実用的な課題、多分岐						
10	基礎 8 制御構造 break、for						
11	基礎 9 スクリプトの関数とデータの扱い方						
12	linux1-1 ユーザーごとの設定、パス						
13	linux1-2 awk、正規表現						
14	総合的なまとめ						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		75%		15%	10%		100%
(補足)		・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】						8年間、SEとして実務経験あり。現在は、言語関係（C、java、C++、C#、php、など）、linux、データベース、システム設計などを担当する。	
【教科書・参考文献】						特になし。必要な資料は、紙やpdfで用意する。	

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象
工業専門課程		情報処理科 3 年制		2025		2 年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数
専門 必修	実習	LinuxⅡ		清野ひろし	有	4 単位 60 時間
【授業の到達目標及びテーマ】						
LinuxⅠ で学んだ知識と技術を道具として、各種のサーバー設定を行う。 目標は、よく使われるサーバーの構築の基礎ができるようになることである。						
【講義概要】						
基本的なコマンドやスクリプトの学習からはじまる。講義で学んだ知識によって、実際にLinux上でいろいろな操作を行う。実践を通して基本的な操作が身につくようにする。実習ではVmWareを使い、管理者として操作を行う。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	linuxのインストール、実習に必要な設定を行う、コマンドとスクリプトの復習					
2	ファイルシステム、FHS					
3	ユーザー管理					
4	iノード、リンク					
5	HTML、CGI、perl、php					
6	Webサーバーの設定					
7	アプリのインストール、rpm、yum、tcl/tk、mysql					
8	中間試験					
9	mysqlのユーザー管理					
10	デバイス、クォータ					
11	ブート機能					
12	プロセス管理、システム管理					
13	ネットワークサービス senmail					
14	samba、dovecot、postfix					
15	期末試験					
【成績評価方法】						
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）
割合		75%		15%	10%	合計
(補足)		・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。				
【教員紹介】						
8年間、SEとして実務経験あり。現在は、言語関係（C、java、C++、C#、php、など）、linux、データベース、システム設計などを担当する。						
【教科書・参考文献】						
特になし。必要な資料は、紙やpdfで用意する。						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科 3 年制		2025		2 年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
専門 必修	講義	LPIC/LinuC対策 I		鈴木 俊	有	2 単位 30 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
Linux Essentials 取得に必要な知識を身につけることを目標とする。							
【講義概要】							
Linux コマンドライン操作の基本を身につけていることを前提として、Linux Essentials 試験の問題対策を行う。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	Linuxの進化と普及したオペレーティングシステム						
2	主なオープンソースアプリケーション						
3	ICTスキルとLinuxでの作業						
4	コマンドラインを使ってヘルプを表示する						
5	ファイルの作成、移動、および削除						
6	ファイルからのデータの検索と抽出						
7	ここまでの復習、中間試験対策						
8	中間試験						
9	コマンドをスクリプトにする						
10	データの格納先						
11	ネットワーク上のコンピュータ						
12	セキュリティの基本とユーザー種別						
13	ファイルのパーミッションと所有権を管理する						
14	ここまでの復習、期末試験対策						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験	小テスト	レポート 自習課題	平常点	その他（ ）	合計
割合		80%		20%			100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。					
【教員紹介】							
金融、通信キャリアの構築・運用業務に、インフラ（NW、サーバー）エンジニアとして従事 携帯電話会社のメールシステム構築業務、金融会社のシステム設計・構築業務、等							
【教科書・参考文献】							
教科書：JMAM Linux Essentials合格テキスト &問題集							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科 3 年制	2025		2 年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
専門 必修	講義	データサイエンス	吉田 雅裕	有	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
Excelを用いたデータクレンジングの方法、データの正しい読み方、統計的手法を用いたデータ分析をできるようになる。実際のビッグデータに対して、データサイエンスの各種手法を適用できるようになる。							
【講義概要】							
ビッグデータの利活用が必須化している現代において、実際に大量のデータに接し、それを加工・分析・可視化するスキルが極めて重要となる。本講義では、Microsoft社の表計算ソフト『Excel』を用いて、演習を中心とした授業内容により、データサイエンスの基礎技術を習得する。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	イントロダクション						
2	データサイエンスのプロセス						
3	データ収集①（公開データ）						
4	データ収集②（アンケート調査）						
5	データクレンジング						
6	データ集計						
7	データ可視化						
8	統計学基礎						
9	統計的推定						
10	統計的検定						
11	連関分析						
12	相関分析						
13	データサイエンス演習①						
14	データサイエンス演習②						
15	データサイエンス演習③						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合				100%			100%
(補足)		・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・ レポートや自習課題は必ず提出すること。					
【教員紹介】							
1985年生まれ。山口県出身。東京大学大学院博士課程修了。博士(学際情報学)。日本学術振興会特別研究員を経て、2013年に日本電信電話株式会社に入社。5Gと自動運転に関する研究開発を経て、現在、中央大学国際情報学部准教授。コンピュータネットワークとAIに関する研究教育活動に従事。							
【教科書・参考文献】							
参考文献：吉田雅裕，『Pythonで学ぶはじめてのデータサイエンス』，技術評論社，2023							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科 3 年制		2025		2 年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
専門 必修	実習	進級制作		高橋義博/小泉真理子	有	4 単位 60 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
チームでの制作を通して、プロジェクトに必要な知識を体験する。							
【講義概要】							
複数人でチームを組み、Webサイトを完成させる。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	制作サイト概要決定						
2	計画書・WBS作成						
3	設計						
4	設計						
5	テスト仕様書						
6	制作						
7	制作						
8	中間発表						
9	制作						
10	制作						
11	制作						
12	制作						
13	テスト						
14	テスト						
15	最終発表						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		50%		50%			100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
高橋：15年以上、Webデザイナー・Webプログラマとして幅広いWebシステム開発、Webサイト制作に従事。また、複数の専門学校等でWebデザイン講師に従事。 小泉：ITベンダでソリューション提案に従事。							
【教科書・参考文献】							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科 3 年制	2025		2 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
基礎専門 必修	講義	セキュリティⅡ	久良知 眞紀子	有	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
情報セキュリティマネジメント試験の午前・午後問題分野について、要点確認と問題演習を行う。							
【講義概要】							
教科書の単元に沿って解説する。毎回、授業の最後に、その日の授業の範囲から出題した小テストを行う。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	情報セキュリティ全般：単元01 情報セキュリティ						
2	情報セキュリティ全般：単元02 マルウェア、単元03 パスワードの不正入手/不正利用、						
3	情報セキュリティ全般：単元04 Webサイト利用者への攻撃、単元05 サービスの妨害/悪用、						
4	情報セキュリティ全般：単元06 人的脅威、単元07 物理的脅威/その他の脅威、						
5	情報セキュリティ全般：単元08 暗号化技術、単元09 認証技術						
6	情報セキュリティ全般：単元10 デジタル署名						
7	中間試験						
8	情報セキュリティ対策：単元11 マルウェア対策、単元12 不正アクセス対策						
9	情報セキュリティ対策：単元13ネットワークセキュリティ、単元14情報漏えい対策						
10	情報セキュリティ対策：単元15その他のセキュリティ対策						
11	情報セキュリティ管理：単元16 情報セキュリティマネジメント、単元17 ISMS						
12	情報セキュリティ管理：単元18 リスクマネジメント、単元19 情報セキュリティインシデント管理						
13	情報セキュリティ関連法規：単元20 情報セキュリティ関連法規						
14	総合問題						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		80%			20%		100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。					
【教員紹介】							
①銀行でシステム開発に従事（2年） ②IT企業で開発に従事（2年） ③起業し、システム開発、教育、翻訳、テクニカルライティング（20年） ④専門学校でIT系科目を担当（10年）							
【教科書・参考文献】							
情報セキユマネ試験 要点&問題集（インフォテックサーブ）							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科 3 年制		2025		2 年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
基礎専門 必修	講義	基本情報科目A対策Ⅱ		小泉 真理子	有	2 単位 30 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
基本情報技術者試験(FE)の合格を目指す。特に、本授業では科目A試験の対策を行う。							
【講義概要】							
過去問演習を通して、科目A試験を突破できる実力を養う。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	FE科目Aの過去問演習						
2	FE科目Aの過去問演習						
3	FE科目Aの過去問演習						
4	FE科目Aの過去問演習						
5	FE科目Aの過去問演習						
6	FE科目Aの過去問演習						
7	中間試験						
8	FE科目Aの過去問演習						
9	FE科目Aの過去問演習						
10	FE科目Aの過去問演習						
11	FE科目Aの過去問演習						
12	FE科目Aの過去問演習						
13	FE科目Aの過去問演習						
14	FE科目Aの過去問演習						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（	合計
割合		50%		50%			100%
(補足)		・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は1 0 0 点を最高とし、 6 0 点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
SIベンダにてソリューション提案・設計に従事。保有資格：ITパスポート試験、基本情報技術者試験、情報セキュリティマネジメント試験、応用情報技術者試験、情報処理安全確保支援士、ネットワークスペシャリスト試験、プロジェクトマネージャ試験など。							
【教科書・参考文献】							
過去問を配布する							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科 3 年制	2025		2 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
基礎専門 必修	講義	基本情報科目B対策Ⅱ	安藤 真理	無	1 単位 15 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
基本情報技術者試験（ F E ）の取得を目指すため、科目Bの過去問などや主に出題されるアルゴリズムを学習する。							
【講義概要】							
基本情報技術者試験は過去問から出題されるので、過去問の学習および理解を深める。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	基本情報技術者試験の科目Bについて 受験時の注意						
2	ソート①						
3	ソート②						
4	文字列処理①						
5	文字列処理②						
6	中間試験対策						
7	中間試験解説						
8	過去問対策（アルゴリズム小問①						
9	過去問対策（アルゴリズム小問②						
10	過去問対策（アルゴリズム大問①						
11	過去問対策（アルゴリズム大問②						
12	過去問対策（セキュリティ①						
13	過去問対策（セキュリティ②						
14	期末試験対策						
15	期末試験解説						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		80%			20%		100%
(補足)		・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は1 0 0 点を最高とし、 6 0 点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
大学院在学時より小学校ICT支援員とPCクラブ講師に従事。中学数学科・技術科、高校情報科の教員、専門学校にて外国人留学生に教えるなど様々な教育現場に従事した経験を持つ。							
【教科書・参考文献】							
基本情報技術者[科目B]アルゴリズムとプログラミング トレーニング 問題集(第2版)（大原出版）							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科 3 年制	2025		2 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
一般教育 必修	講義	基礎英語 I	酒井 智子	有	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
既習の文法事項の定着をはかりつつ、更に実用的な英語の四技能（読・書・聞・話）の基礎力・応用力を養う。 将来の職場において、身近にある既存のツールを用いての必要最低限以上の対応力を養うことを目標とする。							
【講義概要】							
英文法を基礎から学び直し即戦力となる基盤を築きたい。またITの専門領域に特化した単語集より各回15語程度の英単語を例文を通して覚えてもらう。小テストや課題を原則毎回こなし、積極的な取り組みによる成果を得ることで、日常の努力が報われる成功体験を得てもらいたい。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	オリエンテーション、 5 文型 8 品詞、 IT単語・ 例文（1～15）						
2	Unit 1 「Be動詞、普通動詞」（1）、 IT単語・ 例文（16～30）						
3	Unit 1 「Be動詞、普通動詞」（2）、 IT単語・ 例文（31～45）						
4	Unit 2 「進行形、未来形、命令形」（1）、 IT単語・ 例文（46～60）						
5	Unit 2 「進行形、未来形、命令形」（2）、 IT単語・ 例文（61～75）						
6	Unit 3 「完了形、受動態、冠詞」（1）						
7	中間試験						
8	Unit 3 「完了形、受動態、冠詞」（2）、 IT単語・ 例文（76～90）						
9	Unit 4 「助動詞、接続詞」（1）、 IT単語・ 例文（91～105）						
10	Unit 4 「助動詞、接続詞」（2）、 IT単語・ 例文（106～120）						
11	Unit 5 「疑問詞」（1）、 IT単語・ 例文（121～135）						
12	Unit 5 「疑問詞」（2）、 IT単語・ 例文（136～150）						
13	Unit 6 「分詞、 5 文型、 知覚動詞、 使役動詞」（1）、 IT単語・ 例文（151～165）						
14	Unit 6 「分詞、 5 文型、 知覚動詞、 使役動詞」（2）						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		90%	5%	3%	2%		100%
（補足）		・ 成績は 1 0 0 点を最高とし、 6 0 点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・ レポートや自習課題は必ず提出すること。					
【教員紹介】							
高校教師（4 年）、外資系企業の秘書（5 年）、医療系大学で薬学部非常勤講師の経験（2 年半）あり。 取得資格：英検1級、全国通訳案内士、医療通訳士技能検定2級(日本医療通訳協会)							
【教科書・参考文献】							
【教科書】 Building Solid English Grammar for Practical Use（朝日出版社） 【参考文献】 IPA セキュリティ英単語集（情報処理推進機構 website より）							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科 3 年制	2025		2 年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
一般教育 必修	講義	基礎英語Ⅱ	酒井 智子	有	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
既習の文法事項の定着をはかりつつ、更に実用的な英語の四技能（読・書・聞・話）の基礎力・応用力を養う。将来の職場において、身近にある既存のツールを用いての必要最低限以上の対応力を養うことを目標とする。							
【講義概要】							
英文法を基礎から学び直し即戦力となる基盤を築きたい。またITの専門領域に特化した単語集より各回15語程度の英単語を例文を通して覚えてもらう。小テストや課題を原則毎回こなし、積極的な取り組みによる成果を得ることで、日常の努力が報われる成功体験を得てもらいたい。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	Unit 7 「代名詞、前置詞」(1)、IT単語・例文（166～180）						
2	Unit 7 「代名詞、前置詞」(2)、IT単語・例文（181～195）						
3	Unit 8 「関係詞、as と that」(1)、IT単語・例文（196～210）						
4	Unit 8 「関係詞、as と that」(2)、IT単語・例文（211～225）						
5	Unit 9 「不定詞、動名詞」(1)、IT単語・例文（226～240）						
6	Unit 9 「不定詞、動名詞」(2)						
7	中間試験						
8	Unit 10 「形容詞、副詞、数と量、比較級、最上級」(1)、IT単語・例文（241～255）						
9	Unit 10 「形容詞、副詞、数と量、比較級、最上級」(2)、IT単語・例文（256～270）						
10	Unit 11 「仮定法、不定代名詞、再帰代名詞」(1)、IT単語・例文（271～285）						
11	Unit 11 「仮定法、不定代名詞、再帰代名詞」(2)、IT単語・例文（286～300）						
12	Unit 13 「まぎらわしい単語・略語、復習」、IT単語・例文（301～315）						
13	Unit 14 「和製英語と二つ以上の意味がある単語、復習」、IT単語・例文（316～330）						
14	Unit 15 「動詞と間違えやすい語句の使い分け、様々なSの見分け方、復習」						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		90%	5%	3%	2%		100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。					
【教員紹介】							
高校教師（4年）、外資系企業の秘書（5年）、医療系大学で薬学部非常勤講師の経験（2年半）あり。 取得資格：英検1級、全国通訳案内士、医療通訳士技能検定2級(日本医療通訳協会)							
【教科書・参考文献】							
【教科書】 Building Solid English Grammar for Practical Use（朝日出版社） 【参考文献】 IPA セキュリティ英単語集（情報処理推進機構 website より）							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象														
工業専門課程		情報処理科 3 年制	2025		2 年 後期														
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数														
一般教育 必修	講義	ビジネス数学	唐戸 民雄	無	2 単位 30 時間														
【授業の到達目標及びテーマ】																			
ビジネス数学 3 級の合格を目指す。願わくば 2 級に合格したい。																			
【講義概要】																			
ビジネス数学とあるが、決して複雑な計算を要するわけではない。基本的な四則演算と初歩的な分数の知識の確認をしつつ、演習を行う。また、初歩的なビジネス用語にも触れる。社会のしくみ、動向を示す数字のごく初歩的なものを確認していきたい。																			
回	授業計画及び学習の内容																		
1	ビジネス数学について 演習 I 割合 百分率・歩合																		
2	演習 2 割合の利用 売買																		
3	演習 3 損益賛 分割払い																		
4	演習 4 把握力 1 業界シェアの動向は？売上状況は？どれだけ売れ筋に頼っているか？契約数は？																		
5	演習 5 分析力 1 小売店 A の利益は？ N さんの年収は？完全失業率は？ 5 年後の受取利息は？																		
6	演習 6 分析力 2 定期預金の満期いくらになる？為替差益(差損)はどれくらい？平均賃金はいくら？ 他																		
7	総合演習 1 把握力・分析力																		
8	中間試験																		
9	演習 7 選択力 最適な通勤ルートは？どの部署に配属させればよい？売り上げを最大にする価格は？																		
10	演習 8 把握力 2 どの IT ベンダーに委託する？模範店舗はどの店舗？利益を最大にする戦略は？ 他																		
11	演習 9 予測力 1 来月の売上高は？ R 社に何時に到着する？ 8 月の入場者数は？製品を作るのに何時間かかる？																		
12	演習 1 0 予測力 2 集計作業が終わるのはいつ？製品 Z の納期はいつ？ B 店が A 店を追い抜くのはいつ？ 他																		
13	演習 1 1 表現力 1 受験者数を棒グラフで示そう 売上構成を円グラフで示そう データ分析のヒストグラムは？ 他																		
14	演習 1 2 表現力 2 販売数量と気温の関係をみえる化 株価の動向をローソク足で表すと？ 他																		
15	期末試験																		
【成績評価方法】																			
<table><tr><td>評価項目</td><td>試験・課題</td><td>小テスト</td><td>レポート</td><td>平常点</td><td>その他（ ）</td><td>合計</td></tr><tr><td>割合</td><td>80%</td><td>10%</td><td></td><td>10%</td><td></td><td>100%</td></tr></table> (補足) ・成績は 1 0 0 点を最高とし、6 0 点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が 1/3 を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。						評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	80%	10%		10%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計													
割合	80%	10%		10%		100%													
【教員紹介】																			
四半世紀にわたり、東京電子専門学校において、表現技法、一般常識を担当してきました。 また、他の専門学校で論文作成を、都の職業訓練校でビジネス関係の科目を教えてきました。																			
【教科書・参考文献】																			
授業時にプリントを配付する。																			

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象
工業専門課程		情報処理科 3 年制		2025		2 年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数
一般教育 必修	講義	一般常識 I		唐戸 民雄	無	2 単位 30 時間
【授業の到達目標及びテーマ】						
基本的な計算力、一般的な漢字の読み、社会科系統・理科系統の基本的な知識を再確認する。						
【講義概要】						
言語事項の確認、社会科系統（地理・歴史・政治経済）、理科系統（物理・化学・地学・生物）などの基礎知識、就職試験、SPI などでも出題される早さ、通貨算、鶴亀算などを確認する。毎回、確認テストを行う。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	言語事項の確認 1	社会科系統 1	理数系統 1	確認テスト 1		
2	言語事項の確認 2	社会科系統 2	理数系統 2	確認テスト 2		
3	言語事項の確認 3	社会科系統 3	理数系統 3	確認テスト 3		
4	言語事項の確認 4	社会科系統 4	理数系統 4	確認テスト 4		
5	言語事項の確認 5	社会科系統 5	理数系統 5	確認テスト 5		
6	言語事項の確認 6	社会科系統 6	理数系統 6	確認テスト 6		
7	言語事項の確認 7	社会科系統 7	理数系統 7	確認テスト 7		
8	中間試験					
9	言語事項の確認 8	社会科系統 8	理数系統 8	確認テスト 8		
10	言語事項の確認 9	社会科系統 9	理数系統 9	確認テスト 9		
11	言語事項の確認 10	社会科系統 10	理数系統 10	確認テスト 10		
12	言語事項の確認 11	社会科系統 11	理数系統 11	確認テスト 11		
13	言語事項の確認 12	社会科系統 12	理数系統 12	確認テスト 12		
14	言語事項の確認 13	社会科系統 13	理数系統 13	確認テスト 13		
15	期末試験					
【成績評価方法】						
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）
割合		80%	10%		10%	
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。				
【教員紹介】						
四半世紀にわたり、東京電子専門学校において、表現技法、一般常識を担当してきました。 また、他の専門学校で論文作成を、都の職業訓練校でビジネス関係の科目を教えてきました。						
【教科書・参考文献】						
授業時にプリントを配付する。						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科 3 年制	2025		2 年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
一般教育 必修	講義	一般常識Ⅱ	佐々木 一仁	無	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
①就職試験対策として必要な学力を身に付ける。②就職試験の内容を理解し，就職活動に結び付ける。							
【講義概要】							
①一般常識 ②SPI ③その他の検査 など							
回	授業計画及び学習の内容						
1	Lesson12, Lesson13, Lesson41 小テスト Lesson1						
2	Lesson14, Lesson15, Lesson41 小テスト Lesson2						
3	Lesson16, Lesson17, Lesson42 小テスト Lesson3						
4	Lesson18, Lesson22, Lesson42 小テスト Lesson4, 5						
5	Lesson23, Lesson24, Lesson43 小テスト Lesson6						
6	Lesson25, Lesson26, Lesson43 小テスト Lesson7						
7	中間試験						
8	返却（解説） Lesson27, Lesson28 小テスト Lesson8						
9	Lesson29, Lesson30, Lesson44 小テスト Lesson9						
10	Lesson31, Lesson32, Lesson44 小テスト Lesson10						
11	Lesson33, Lesson34, Lesson45 小テスト Lesson11						
12	Lesson35, Lesson36, Lesson45 小テスト Lesson19						
13	Lesson37, Lesson38, Lesson46 小テスト Lesson20						
14	Lesson39, Lesson40, Lesson46 小テスト Lesson21						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		80%	10%		10%		100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。としない。					
【教員紹介】						中学校，高等学校で20年以上にわたり生徒を指導。「わかる」授業を心掛けている。	
【教科書・参考文献】						就職筆記試験対策問題集（ムゲンダイ出版）	

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科 3 年制	2024		2 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数		
一般教育 必修	講義	就職対策 I	石井眞木子	有	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
グループディスカッションを通して自分自身を理解し、他者とのコミュニケーションを学ぶ。 また、就職活動の流れからソフトウェア業界の説明・会社訪問・採用試験などについてキャリアコンサルタントの視点から解説し、来年度の就活がスムーズに行えるように履歴書、採用面接の準備を行う。							
【講義概要】							
企業説明会から採用試験までの対応をキャリアコンサルタントとして解説し、ワークシートを使って自己分析を深める。 また、発表会、スピーチなどを通して人前で話す経験を積む。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	講義の説明、オリエンテーション、グループディスカッションの進め方を学ぶ（価値観のワーク）						
2	就職活動の概要を把握、就職活動の全体像、主なスケジュールなどの説明、社会人基礎力の理解						
3	働くことの意味、社会人との違いの理解						
4	グループディスカッションの進め方を学ぶ その1 実習「価値観のワーク」						
5	グループディスカッションの進め方を学ぶ その2 実習「ボランティア」						
6	お金の話（給与＋残業代）						
7	中間試験						
8	ソフトウェア業界の理解、職種の構成、S E の業務内容の理解						
9	ワークシートを使って自己分析をする その1 パーソナリティ、長所と短所等						
10	ワークシートを使って自己分析をする その2 心の4つの窓「ジョハリの窓」						
11	ワークシートを使って自己分析をする その3 学生時代に力を注いだこと						
12	ワークシートを使って自己分析をする その4 挫折経験、キャリアプラン、将来の夢						
13	企業の採用に対する考え方などについての知識の理解とグループワークによる実践						
14	交流分析 その1 エゴグラムによる自己の行動の特徴の理解と今後の行動変容の認識						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		80%		10%	10%		100%
(補足)		・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は1 0 0点を最高とし、6 0点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
担任業務の学生の生活指導、就職支援のために研鑽を積み産業カウンセラー、国家資格のキャリアコンサルタントの資格を取得し、学生のキャリア支援に勤しむ。							
【教科書・参考文献】							
なし							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科 3 年制	2025		2 年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
一般教育 必修	講義	就職対策Ⅱ	石井眞木子	有	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
就職活動の流れからソフトウェア業界の説明・会社訪問・採用試験などについてキャリアコンサルタントの視点から解説し、来年度の就活がスムーズに行えるように履歴書、自己PR、採用面接の準備を行う。							
【講義概要】							
就職対策Ⅰで行った自己分析をもとに、より自己理解を深め履歴書・ESを作成する。さらに、面説練習、様々なロールプレイングによってビジネスマナーを体験しスムーズに就職活動をするための基礎力を養う。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	就職対策Ⅱの講義についての説明、就活のスケジュールについての復習、履歴書の作成についての説明						
2	履歴書を書き始める 「PREP法」を正しく理解する						
3	自己PRを記述し、グループワークによってお互いに自己PRを深める						
4	学生時代に頑張ったことを記述し、グループワークによってお互いに自己PRを深める						
5	採用試験（筆記・グループディスカッション・面接など）の説明。敬語、ビジネスマナーを理解する						
6	採用試験の筆記試験について模擬試験問題を体験し、自分の得意不得意を理解する						
7	中間試験						
8	採用試験のWeb試験（CAB、GAB）について模擬試験問題を体験し、自分の得意不得意を理解する						
9	採用試験の面接試験についての説明と面接試験のロールプレイングの準備を行う						
10	面接試験のロールプレイング その1						
11	面接試験のロールプレイング その2						
12	企業求人の理解 その1．企業の求人票を確認する						
13	企業求人の理解 その2．会社の特性の見方と自分に合った会社選びの基準を理解する						
14	内定、試用期間と懲戒についての説明と内定後のスケジュール等を理解する						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		80%		10%	10%		100%
(補足)		・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
担任業務の学生の生活指導、就職支援のために研鑽を積み産業カウンセラー、国家資格のキャリアコンサルタントの資格を取得し、学生のキャリア支援に勤しむ。							
【教科書・参考文献】							
就職筆記試験 対策問題集 一般常識・SPI編							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科 3 年制	2025		2 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
一般教育 必修	実習	プレゼンテーション	山際 能理子	有	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
目的：伝え方の技術を学び、社会人にむけての基礎力を養う 目標：効果的なプレゼンテーションスキルを習得し、今後の就職活動に活かす チーム作業を通して、協働する喜びを知る							
【講義概要】							
前半は、プレゼンテーションの基本理論を学びながら、説明や説得のテクニックを実習で体得します。 後半は、課題を組み立て発表し説明力の向上を図ります。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	【オリエンテーション】	説明力概論	説明と説得				
2	【心理メカニズム】	相手（聞き手）の心理を理解する					
3	【非言語①】	非言語の重要性を知る（視覚情報と聴覚情報）					
4	【非言語②】	空間管理の活用	ツールの利用法				
5	【説明力テクニック①】	インタビュー	プランニング	ネゴシエーション			
6	【説得力テクニック②】	応酬話法	論理構築				
7	【プレゼンテーション基礎】	全体構成	PREP法	課題作成			
8	【プレゼンテーション基礎】	全体構成	SDS法	課題作成			
9	【プレゼンテーション基礎】	スライドの作り方	レイアウト	文字の大きさ	配色		
10	【プレゼンテーション準備】	チーム作業	全体構成案の提出				
11	【プレゼンテーション準備】	チーム作業	進捗チェック				
12	【プレゼンテーション実践】	チーム発表・評価					
13	【プレゼンテーション実践】	チーム発表・評価					
14	総合評価						
15	まとめ						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		50%			50%		100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。					
【教員紹介】							
専門学校や大学では、ビジネスマナー、社会人基礎力、就職対策、キャリアデザイン、プレゼンテーションを担当。 企業や官庁において、新入社員から管理職までの研修を担当。著書にサービス接遇や説明力がある。							
【教科書・参考文献】							
説明力強化							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科 3 年制	2025		2 年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
一般教育 必修	講義	ビジネスマナーⅡ	今村 朋子	有	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
就職活動に役立ち、且つ社会人としても通用するビジネスマナーを身につける。 併せて良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの方法、日常生活での基本的なマナーの見直しも行う。							
【講義概要】							
授業は講義と参加型の実習を取り入れ、主体的に発信する力を伸ばし、共感的に受信する力を広げることを目標とする。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	なぜ「ビジネスマナー」が必要なのか 今後の就職活動を踏まえ、社会人となる自己認識を高める 返事と挨拶、礼節としての「お辞儀」 学生と社会人の違い 守秘義務 コンプライアンス						
2	「身だしなみ」について 第一印象の形成、重要性 初対面での注意点						
3	ビジネスマナーの基本 「人間関係」の大切さ 的確な報告、連絡、相談の方法						
4	コミュニケーションの重要性 「聞くこと」「話すこと」の正しい姿勢、「よい話し方」の基本						
5	敬語① 正確な敬語を使いこなす T. P. Oに合わせた言葉遣い						
6	敬語② 接遇用語・接遇のマナー 「ホスピタリティ」と「サービス」						
7	中間試験						
8	電話の応対① 電話応対の注意点 「受け方」の基本 苦情電話、間違い電話などへの対応						
9	電話の応対② 電話応対の注意点 「掛け方」の基本 伝言メモの作成						
10	訪問のマナー 名刺の取り扱いかた 名刺交換の手順 紹介の仕方						
11	応接のマナー お茶の出し方 席次のルール 応接室、車、乗り物の席次						
12	交際のマナー① 慶事・弔事における決まりごと パーティでのマナー						
13	交際のマナー② お中元、お歳暮 賀寿、お礼状など 交際のルール						
14	総復習 「仕事の穴」に落ちないために 「人としての魅力」で、仕事の結果につなげよう						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		80%			20%		100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。としない。					
【教員紹介】						都内専門学校勤務を経て、大手メーカー研修事業部、大学・短大オープンカレッジ、男女共同参画センター等でビジネスマナー、秘書検定講師を務める。 著作：「うかる！ 秘書検定 2級・3級 テキスト&問題集」日本経済新聞出版社	
【教科書・参考文献】							
各クラス共通 「社会でいきる 実践ビジネスマナー」							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科 3 年制	2025		2 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
一般教育 必修	講義	ビジネス検定対策	今村 朋子	有	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
ビジネス能力検定 3 級合格を目指す。 ビジネスの基本的な在り方を学び、実務力とコミュニケーション力をつける。							
【講義概要】							
ビジネスの基礎知識を学び、検定日までは毎回演習問題を実施し理解を深めます。 ビジネス能力検定終了後は、さらなる自己啓発に取り組み、就職活動の準備へ繋げて行きます。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	キャリアと仕事へのアプローチ 働く意識 演習問題						
2	仕事の基本となる 8 つの意識 演習問題						
3	コミュニケーションとビジネスマナーの基本 演習問題						
4	指示の受け方と報告・連絡・相談 演習問題						
5	話し方と聞き方のポイント 敬語の種類と必要性 演習問題						
6	来客応対と訪問の基本マナー 面談と名刺交換 演習問題						
7	中間試験						
8	会社関係でのつき合い 冠婚葬祭の基本 演習問題						
9	仕事への取り組み方 定型業務と否定形業務 演習問題						
10	ビジネス文書の基本 社内文書・社外文書・社交文書 演習問題						
11	電話応対 電話の受け方・かけ方 取りつぎの仕方 演習問題						
12	統計・データの読み方・まとめ方 表とグラフ 演習問題						
13	情報収集とメディアの活用 インターネット・新聞 演習問題						
14	会社を取り巻く環境と経済の基本 求められる人材とは 演習問題						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		80%			20%		100%
(補足)		・成績は 1 0 0 点を最高とし、6 0 点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が 1/3 を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。					
【教員紹介】							
都内専門学校勤務を経て、大手メーカー研修事業部、大学・短大オープンカレッジ、男女共同参画センター等でビジネスマナー、秘書検定講師を務める。 著作：「うかる！ 秘書検定 2 級・3 級 テキスト&問題集」日本経済新聞出版社							
【教科書・参考文献】							
各クラス共通 「ビジネス能力検定 3 級」テキスト及び問題集							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科 3 年制	2025		2 年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
一般教育 必修	講義	簿記	木村和也	有	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
簿記を通じて、ビジネス会計に必要な知識を習得していきます。仕訳から決算書作成までを学んでいきます。日商簿記3級合格レベルを目指します。							
【講義概要】							
人間の社会活動において財務と会計は非常に重要なものです。その財務と会計の基本となる技術が簿記です。そんな簿記の技術を用いて、企業の取引を記録して集計し決算書を作成するまでの流れを学習していきます。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	簿記とは、オリエンテーション						
2	1. 簿記の基礎						
3	2. 現金、当座預金						
4	2. 当座借越、小口現金						
5	3. 商品売買						
6	3. 商品売買②						
7	中間試験						
8	3. 商品売買（商品有高帳）						
9	4. 手形						
10	5. その他の資産負債						
11	6. 固定資産						
12	7. 試算表						
13	8. 決算手続						
14	8. 決算手続②						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		80%	10%		10%		100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。					
【教員紹介】							
税理士・行政書士・介護福祉士の資格を保有。現在は、税理士事務所を立ち上げて活動中。企業経営実績や介護福祉事業所の運営経験などがあり、これらを活かした「実務に役立つ授業」をしていきたいと思っています。							
【教科書・参考文献】							
サクッと受かる日商3級商業簿記テキスト（ネットスクール出版）、レジュメ							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科 3 年制	2025		2 年 通年	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
一般教育 必修	実習	体育実習Ⅱ	情報処理科 3 年制 担当教員	無	2 単位 30 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】						
学園祭を通して、健全な身体と精神を育む。 学園祭は、各種催し物の企画、準備、実施、参加により、協調性を養います。 心身の健全な育成を目指しています。						
【講義概要】						
この授業は学園祭（準備 2 日間、学園祭 2 日間）の参加を以て、評価します。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	学園祭準備（1 日目、2 日目）					
2						
3						
4	学園祭（1 日目）					
5						
6						
7	学園祭（2 日目）、後片づけ					
8						
9						
10	－					
11						
12						
13	－					
14						
15						
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合 （補足）				100%		100%
・ 成績は 1 0 0 点を最高とし、6 0 点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・ レポートや自習課題は必ず提出すること。						
【教員紹介】						
－						
【教科書・参考文献】						
－						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		情報処理科 3 年制	2025		2 年 通年
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 選択	実習	課外活動Ⅱ	情報処理科 3 年制 担当教員	無	1 単位 15 時間

【授業の到達目標及びテーマ】

インターンシップで就業体験をしたり、企業との産学連携事業を通して特別授業やセミナーを受講、外部の勉強会やコンテスト参加など、就職に役立つ知識の習得や最新の技術動向に触れるなど、学内の授業だけでは体験できないことを経験する。

【講義概要】

参加した時間数に応じて1次元単位時間を超えた場合に 1 単位を認定する

回	授業計画及び学習の内容
1	インターンシップ、企業が実施する特別授業、セミナー受講、外部の勉強会参加、コンテスト参加など
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他(出席と取り組む姿勢)	合計
割合 (補足)				50%	50%	100%

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

【教員紹介】

-

【教科書・参考文献】

-

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象
工業専門課程		情報処理科 3 年制		2025		2 年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数
一般教育 必修	講義	一般常識Ⅱ		唐戸 民雄	無	2 単位 30 時間
【授業の到達目標及びテーマ】						
基本的な計算力、一般的な漢字の読み、社会科系統・理科系統の基本的な知識を再確認する。						
【講義概要】						
言語事項の確認、社会科系統（地理・歴史・政治経済）、理科系統（物理・化学・地学・生物）などの基礎知識、就職試験、SPI などでも出題される早さ、通貨算、鶴亀算などを確認する。毎回、確認テストを行う。回数が前後する場合もある。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算 1	文章題 1（仕事算）	確認点スト 1	
2	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算 2	文章題 2（年齢算）	確認点スト 2	
3	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算 3	文章題 3（植木算）	確認点スト 3	
4	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算 4	文章題 4	確認点スト 4	
5	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算 5	文章題 5	確認点スト 5	
6	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算 6	文章題 6	確認点スト 6	
7	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算 7	文章題 7	確認点スト 7	
8	中間試験					
9	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算 8	文章題 8	確認点スト 8	
10	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算 9	文章題 9	確認点スト 9	
11	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算 1 0	文章題 1 0	確認点スト 1 0	
12	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算 1 1	文章題 1 1	確認点スト 1 1	
13	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算 1 2	文章題 1 2	確認点スト 1 2	
14	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算 1 3	文章題 1 3	確認点スト 1 3	
15	期末試験					
【成績評価方法】						
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）
割合		80%	10%		10%	
（補足）		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。				
【教員紹介】						
四半世紀にわたり、東京電子専門学校において、表現技法、一般常識を担当してきました。 また、他の専門学校で論文作成を、都の職業訓練校でビジネス関係の科目を教えてきました。						
【教科書・参考文献】						
授業時にプリントを配付する。						